

令和7年度 オルレアン市青少年派遣事業報告

オルレアン市について

オルレアン市は、フランス・サントル地方・ロワレ県の県都で、パリの南方約115キロに位置し、1337年に始まったイギリスとの百年戦争の時、フランスを救ったジャンヌ・ダルクの町として有名です。市の中心部のマルトロワ広場にシンボルのジャンヌ・ダルク騎馬像があり、東に歩くと旧市庁舎のグロロー邸とサントクロワ大聖堂が中世の面影を残してそびえ立っています。

市の中央にはフランス一長いロワール川がゆったりと流れ、周辺にはボース平野が広がり、古くから農産物の集積地としても栄えました。また、中部フランスの中核都市として商工業の発展も著しいです。



派遣事業について

本市では、姉妹都市オークランド市、オルレアン市、タルサ市に、中学生や高校生等を派遣し、現地の学校体験やホームステイを通して、異文化交流や多文化共生に触れる「派遣事業」を行っています。

今回は、11月13日(木)～20日(木)までの8日間、学校訪問やホームステイ体験を通して、フランスの文化や国際交流について学びました。

事前研修会に参加しました！

オルレアン市に行く前に、全4回の事前研修会を行いました。学校訪問やホームステイのときに使えるフランス語を勉強したほか、宇都宮市やオルレアン市についても学びました。

	日時	研修内容
第1回	9/21(日) 13:30～16:00	フランス語会話① オルレアン市について
第2回	10/5(日) 13:30～16:00	フランス語会話② 日本文化について
第3回	10/19(日) 13:30～16:00	フランス語会話③ 前回派遣生との懇談
第4回	10/26(日) 13:30～16:00	フランス語での自己紹介の発表 宇都宮市について

派遣への思いを副市長に報告しました！

11月6日(木)に、結団式を実施し、青木副市長に出發の挨拶をしました。派遣生は、日本と異なる文化を学び、積極的に交流をしたいなど目標を話しました。



現地での活動

Bonjour!

Day
01

午前3時に集合し、14時間のフライトを経て、オルレアン市に到着。
ホストファミリーとの対面です。



Day
02

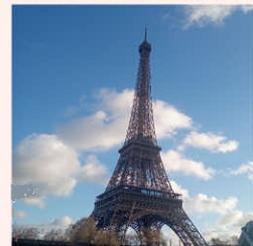
現地の高校生や大学生と交流。
漫画や食べ物で盛り上がりました。
また、グローリー邸で歓迎会が
開催されました。

Day
03~04

自由行動の2日間。
ホストファミリーと市場で
買い物をしたり、
シャンポール城やパリ市に
連れて行ってもらったりしました。



Day
05



パリ市内を見学。
セーヌ川を船で下りながら、
エッフェル塔など、
日本とは違う街並みを
堪能しました。

Day
06



料理教室に参加。
フランスの家庭料理をつくり、
フランスの食文化に触れました。
また、オルレアン市内見学を通じて
歴史的建造物について学びました。

Day
07~08

あっという間に帰国日。
また来るね!

Merci
beaucoup!

学生の感想

11月25日(火)に、帰国報告会を実施し、
市長に無事に帰国したことを報告しました。
また、12月14日(日)には、事後研修会に参加し、
派遣の振り返りを行いました。



◎学生やホストファミリーとのコミュニケーションに不安を感じていたが、漫画など共通の話題があり、
たくさん話をするのができて、自信がついた。

◎多くの歴史的建造物や大きな公園・湖があり、日本とは違う建物の造りや景色を楽しめた。
また、自分たちでフランスの家庭料理をつくり、味えたことも勉強になった。

◎人種や生まれの異なる人々が暮らしていたが、お互いの文化や習慣を尊重していたことが印象的だった。

◎これからも外国の方々と積極的に交流していきたいと思った。

◎日本の文化に興味を持っている方が多かった。日本の歴史や文化を詳しく学び、外国の方に説明できるようになりたいと思った。